

九州大学 大型計算機センターニュース

No. 103

1975. 9. 18

福岡市東区箱崎6丁目10番1号
九州大学大型計算機センター
共同利用掛(TEL.092-641-1101)
内線 2256

目 次

◇ XYプロッタの運用方法の変更について.....	1
◇ グラフィック・ディスプレイ使用ジョブ (GDPジョブ)の負担金改定について.....	5
◇ 共用ファイル確保量について.....	5
◇ 科学研究費補助金による計算機の利用について.....	5
◇ 利用負担金請求の遅延について.....	5

◇ XYプロッタの運用方法の変更について

10月6日(月)よりXYプロッタの運用を、現在のPSPユーティリティ利用による方法からSYSOUT経由による方法に変更いたします。

この変更によって従来問題となっていた次の点が改善されることとなります。

- ① プログラム実行時にエラーが発生した場合、それまでに実行した結果はプロットされる。
(現在は完了コードが467以上になった場合、結果はプロットされない)
- ② データ量が多い場合、実行時にファイルが足りなくなって実行が打ち切られるということはなくなる。
(LP出力と同様に、システムで可能な限りファイルを追加確保するため)
- ③ プロッタ出力があるジョブステップ以降でも実行できるようになる。
(現在、PLOTOUTのジョブステップは完了コード469以上となるため、それ以後のジョブステップは実行されない)

また、利用上の主な変更点は次のとおりです。

- ① ジョブ制御マクロの使い方が全面的に変わる。
- ② 10月6日より前に作られたプロッタのEBは作り変える必要がある。

(そのまま実行させると、仕分情報が二重に書かれる)

③ 仕分情報の形式が変わること(現在データの前と後に出ている情報が逆になる)

なお、プロッタサブルーチンの呼び出し方法は変わりませんのでソースプログラムは変更する必要はありません。

1. ジョブ制御マクロの変更

10月6日以降の標準的なプロッタジョブのデッキ構成は次のとおりです。

<例1> ソースプログラムを翻訳、結合編集し実行する場合

¥NO

¥USER

¥QJOB

¥FORTRAND

ソースプログラム

¥LIEDRUND

データ

¥PLOTTER

¥JEND

<例2> プロッタ出力のあるジョブステップが複数個ある場合の例

¥NO

¥USER

¥QJOB

¥FORTRAND

ソースプログラム

¥LIEDRUND

データ

¥PLOTTER

¥RUN EBNAME=PLOT1, EBFLNAME=ファイル名

デ - タ

```
¥PLOTTER STEP=1
¥JEND
```

<例3> プロッタ出力のあるライブラリを使う例

```
¥NO
¥USER
¥QJOB
¥APRUN EBNAME=UORTEP
```

デ - タ

```
¥F.WORK F08
¥PLOTTER
¥JEND
```

このように、プロッタ出力がある場合、¥LIEDRUND、¥LIEDRUNHのマクロを使用し、データカードの後に¥PLOTTERのマクロを挿入します。

従来の¥PLOTTRUN、¥PLOTOUTのマクロは10月いっぱいまでは使える様にいたしますが、それ以降は消去しますので、新しいカードデッキの構成に変更してください。なお、¥QJOBマクロの指定方法は従来どおりです。

今回追加変更されるマクロは次のとおりです。

① 新規登録されるマクロ

¥PLOTTER (プロッタ用ファイルを定義するマクロ)

② パラメータが変更されるマクロ

¥APRUN (パラメータPLOTTER=USEの消去、これに伴うデッキの構成は、例3のとおり)

③ 消去されるマクロ

¥PLOTTRUN } 10月いっぱいまでは使用できるがそれ以後消去
¥PLOTOUT }

2. ¥PLOTTERのマクロについて

<構文>

¥ P L O T T E R [S T E P = n]

<機能>

プロッタ用ファイルを定義する

<パラメータの説明>

パラメータ	記入したとき	省略したとき
S T E P = n	1 ジョブ中、このマクロを複数個指定するとき、異なった番号を与えなければならない(8桁以内) このマクロを複数個使って、このパラメータを指定しなければプロット結果は保障されないので注意すること(例2を参照)	番号はつかない

3. プロッタサブルーチンについて

プロッタサブルーチンの文法について、詳細は、富士通発行の「FACOM PSP文法書」(資料番号FACOM99SP-0110-2)を参照してください。入手方法は他のマニュアルと同様です。

なお、次の点で記載もれがありますので御注意ください。

- ① N U M B E Rサブルーチンで数値を描く場合、正值の場合には符号の分だけ先頭に1文字の空白がとられます。

<例> 正值の場合 $\begin{array}{l} \text{ } 1 \ 2 \ . \ 3 \\ \leftarrow \text{原点の位置} \end{array}$

負値の場合 $\begin{array}{l} -1 \ 2 \ . \ 3 \\ \leftarrow \text{原点の位置} \end{array}$

- ② L I N Eサブルーチンでプロットする場合、L I N Eサブルーチン呼び出し直前のペンの位置によって、始点からプロットする場合と終点からプロットする場合があります。すなわち、ペンの位置が始点に近ければ始点より、終点に近ければ終点よりプロットします。したがってL I N Eサブルーチン実行後のペンの位置は、場合によって終点または始点となります。L I N Eサブルーチン呼び出し後のW H E R Eサブルーチンの座標値には注意してください。
- ③ 曲線を描く場合、実際には直線近似によってP L O Tしていくため、座標の計算値に対して最大0.1mmの誤差があります。したがって、原点を移動させながら曲線を描く場合など誤差が蓄積されて、かなりのずれを生じることがあります。

(業務掛システム管理班 電話(内)2255)

◇ グラフィック・ディスプレイ使用ジョブ（GDPジョブ）の負担金改定について

10月6日（月）よりGDPジョブの演算負担金をCPS並みに改定いたします。

従って

演算負担金＝10円／秒〔 Σ （CPU（秒）×主記憶占有係数）〕×処理形式係数

となります。

（共同利用掛 電話（内）2256）

◇ 共用ファイル確保量について

共用ファイルの1課題当りの使用量は1000KB（キロバイト）です。これまではファイルに多少余裕がありましたので、1000KBを越えて使用していても黙認してきました。しかし、9月に入ってファイルの利用者が増えてきましたので、当初の方針通り1課題当り1000KBの制限を行いません。

つきましては、1課題で1000KB以上ご利用の方は制限内になるようファイルを整理してください。

なお、10月初めに1000KBを越えたものについては（紙テープファイルは除く）強制的に消去させていただきますのでご了承ください。

＊ファイル確保時の注意

ファイルの大きさは最小が200KB（200KB以下の時は200KBとなります）で、200KB以上は100KB単位で確保されます。従って250KB、380KBなどと指定すれば、それぞれ300KB、400KB確保されることとなります。

（利用の手引き ファイル編暫定版 10ページをご参照ください）

（業務掛システム管理班 電話（内）2255）

◇ 科学研究費補助金による計算機の利用について

科学研究費補助金による計算機の利用が、内定段階で可能になりました。その場合の利用負担金の請求は、本人に予算措置がとられてから行いますのご利用ください。

（共同利用掛 電話（内）2256）

◇ 利用負担金請求の遅延について

公立学校費、私立学校費で計算機を利用されている方の利用負担金の請求が、センターのソフトウェアの都合で遅れています。ついては7月～9月分は10月にまとめて請求し、それ以後従来どおり毎月請求するようになりたいと思いますので、なにとぞご了承ください。

（共同利用掛 電話（内）2256）